

「地域公共交通に関する勉強会」

(1) 実施概要

- ・主催者：八街市地域公共交通協議会
- ・日時：平成25年10月24日(木) 午前10時から11時45分まで
- ・場所：八街市役所第4庁舎1階第4会議室
- ・参加者：59名
内訳：国土交通省関東運輸局 4名、協議会委員 12名、市議会議員 15名、区長 9名、区長代理 5名、一般参加 14名(うち市職員1名)

(2) 勉強会の内容

- ①地域公共交通のあり方について
 - ・学識経験者 日本大学理工学部交通システム工学科
轟 朝幸 教授(八街市地域公共交通協議会副会長)
- ②公共交通の他市町村の事例紹介等
 - ・国土交通省関東運輸局職員
- ③八街市地域公共交通協議会について
 - ・八街市総務部企画課職員
- ④市内公共交通の現状及びデマンド交通試験運行について
 - ・八街市総務部企画課職員
- ⑤質疑応答
 - ・聴覚障害者
：鉄道について、複線化の話はどうなったのか？あと、このような会に参加したので、一般市民と障害者団体にも一緒に呼びかけをしてほしい。
 - ・事務局：複線化に関しては、乗降客が減っていることから、JRは難しいと言っている。今回の件もメール配信も行い、情報発信している今後も積極的に行っていく。
 - ・聴覚障害者
：「総武本線」ならば、複線が前提ではないか。
 - ・事務局：引き続きJRに要望していく。
 - ・参加者A：総武本線について、市の対策はあるのか伺いたい。デマンド交通について、試験運行するというが、どのくらいのサービスなのか？どの程度利用者の要望に応えてくれるのか教えてほしい。
 - ・事務局：総武本線に関しては、快速の増発、佐倉駅の接続等を継続的に要望している。デマンド交通については、運行時間を8:30~17:30としている。8:30から利用できる。ただし、前日予約で、乗合いが集中した場合は、予約が成立しない場合があるので注意して頂きたい。運行のローテーションは45分から60分間隔を予定している。
 - ・参加者B：試験運行を実施する地区の市民(特に高齢者)は、デマンド交通について理解できているのか。10日間でどれだけのことがわかるのか。実施地区で説明会を開催してはどうか。
 - ・事務局：説明会に関しては、川上小学区、交進小学区で既に開催した。要望があれば、今後も説明会を開催する。理解されていないとの情報があれば、市企画課まで連絡を頂きたい。

- ・参加者C：デマンド交通については、試験運行で、八街タクシーが運行することになったようだが、轟教授の講演にあったように、市内のバスやタクシーに限らず、介護タクシーや施設の送迎車、企業の車等多様な交通をネットワーク化して、利便性を高めてもらいたい。今後高齢化が進む中で、高齢者の交通手段がなくなることは避けて頂きたい。高速バスに関しては、利用が少ないのは想定されるので、例えば、自家用車のモータープールを高速バス停の近くに整備すれば、高速バスの利用が増えるのではないか。そのような取組みについて、行政に検討をして頂きたい。利用客の視点に立って取組んで頂きたい。例えば、デマンド交通が四街道まで走れば、利便性が高まるのではないか。利用客が少ないから廃止する前に、利用者を増やす取組みをして頂きたい。
- ・事務局：意見として受けとめます。誤解がないように申し添えるが、デマンド交通は、10日間の試験運行を行うだけであり、導入するか否かについては、今後、地域公共交通協議会で検討していく予定である。
- ・参加者C：デマンド交通以外でも利用状況や市民意向等のデータが蓄積されているのであれば、どうなっているのかを知りたい。

